

1	講演を聞く ⁽¹⁵⁹⁾ 市教委、公立高校再編成の方針（道教委）に基づき、函館東・函館北の市立高校を、平成十九年（二〇〇七）四月に統合する方針を決定予餞会、青春座演目「ウエストサイドストーリー」 ⁽¹⁶⁰⁾	自衛隊イラク派遣 鳥インフルエ ンザ発生
3	佐藤静也校長、北海道札幌真栄高等学校長として転出	
平成十六（二〇〇四）年度		
4	北海道美深高等学校校長森武先生、本校校長（十八代目）に着任入学式、東高校最後の卒業生となる新入生二八二名 平成十九年度に新設する市立高校の骨格を固める「統合プロジェクト検討委員会」を市教委及び両高校教員により設置 道南七高校・高専で発行する合同新聞「疾風（はやて）」の新聞部員四人が、井上博司函館市長にインタビュー。東高の村山絵美新聞局長らが、市と四町村の合併の意義や市立高校の統合決定の経緯について質問 ⁽¹⁶²⁾	イラクで日本人四人人質 日ハム本拠地を札幌ドームへ移転
5	市教委、統合校の学校像として①進学重視②人間性を高める③郷土の歴史を受け継ぎ未来を創る、の三点を柱とする案をまとめる 道内十四大学の教員による出前講義。総合学習の一環として、一・二 年生五三二人が福祉、経済などの専門分野の講義を受ける 高体連全道大会弓道競技当番校（市民体育館） ⁽¹⁶²⁾ 第五十五回青雲祭、テーマ、Full Jump ～走れ夢へ！二〇〇四～。	佐世保市女兒 殺人事件
6	行燈行列は雨のため順延実施 ⁽¹⁶²⁾ 四月発足の文芸同好会（会長梶原晶子・二年）が文芸誌「草莽」を創刊 ⁽¹⁶³⁾ 市教委が東高・北高統合についての保護者説明会を潮見中学校など市 内七中学校で実施。九月には中学生も対象の説明会 青雲時報一六二号（一〇ページ）。特集「行燈行列」のほか、一面には 統合問題についての市長インタビューなど 第十九回全国高校文芸コンクールにおいて、矢口涼子が小説「衝動の 音」で、山田奈里美（二年）が短歌部門で入選 ⁽¹⁶³⁾	アテネオリン ピック 夏の高校野球で 駒高全国制覇
9	生徒会役員選挙、新生徒会長に大坂哲哉（二年） ⁽¹⁶³⁾ 新聞局、第四十八回全道高校新聞研究大会に参加（市芸術ホール）	プロ野球史上初 のストライキ 新潟中越地震

1	予餞会、青春座演目「ゲゲゲの鬼太郎・学校の怪談」 ⁽¹⁶³⁾ 総合学習の一環として「クラスデイベート」を取り入れる	スマトラ沖大地震 愛知万博（愛・ 地球博）
平成十七（二〇〇五）年度		
4	普通科一学級減により、一年Ⅱ学級、二・三年Ⅱ学級となる 公立はこだて未来大学と教育連携協定調印。東高三年生七人が、未 来の講義を大学生とともに受講し、九月に単位を認定 ⁽¹⁶⁵⁾ 本校生による防火ポスター展（市役所一階市民ホール） 第一回ピア・サポート研修会（保健委員会） ⁽¹⁶⁵⁾ 十八年度から、推薦入学試験を取り入れることを決定 ⁽¹⁶⁵⁾ 東高・北高一年生による合同炊事遠足（見晴公園） ⁽¹⁶⁵⁾	個人情報保護 法 J R 福知山線 脱線事故
5	函館・札幌・青森の大学教員十七人による出前講義。一・二年生五二 〇人が受講 放送局、全道高校放送コンテストの朗読部門で西川翔太（三年）入選 全国大会へ ⁽¹⁶⁵⁾ 第五十六回青雲祭、テーマ、Just in Now! ～輝けるこの瞬間～。北 高校との合同企画で募金活動を行う ⁽¹⁶⁵⁾	プロ野球セ・パ 両リーグ交流戦 知床半島世界 遺産
6	芸術鑑賞会の一環として、全校生徒・教職員八〇〇人が函館野外劇「星 の城、明日に輝け」を観劇 東高校・北高校による「合同学校説明会」を開催。平成十九年度の両 校統合に向け、統合までの流れや入試内容などについて説明。中学生 と父母ら約一〇〇〇人が出席（市芸術ホール） 理科渡辺儀輝教諭、日本物理教育学会の二〇〇四年度大塚賞（実践部 門）を受賞（八月小樽で授賞式）	
8	漫画研究同好会、第十四回全国高校漫画選手権大会（まんが甲子園） （高知市）本選へ 生徒会役員選挙、新生徒会長に番重竜磨（二年） 東京都交響楽団演奏会に東・北高吹奏楽部員が参加し共演（市民会館） 全道高校新聞コンクールで「青雲時報一六五号」に特別賞 サッカー部、全国高校サッカー選手権大会（室蘭市）準決勝で北海	駒高高夏連覇 米国ハリケー ン・カトリーナ 総選挙（郵政 選挙）
9		
10		

1	高校に惜敗、全国大会進出を逃す 平成十九年度東高校・北高校統合により発足する新高校の校名として、校名検討委員会が「函館」「五稜郭」「青稜」「巴」「青雲」の五候補を市教委に報告 予餞会	トリノ冬季オリンピック
3	函館市教委、新高校名を「市立函館高等学校」とすることに決定 本年度卒業生（現役）の全国公立大学合格者数が一三三名（道内高校で六位） ⁽¹⁶⁷⁾ 新年度より、入学料（五、五〇〇円↓五、六五〇円）、授業料（九、三〇〇円↓九、六〇〇円）を値上げ	第1回WBCで日本優勝
平成十八（二〇〇六）年度		
4	統合に向け本年度より日課表を変更。一授業時〓五十五分、午前四時限・午後二時限 「市立函館高等学校」開校準備室を東高校内に開設 入学式、函館東高校として最後の入学式（二四〇名） 大学教員による出前講義	耐震強度偽装事件
5	第五十七回青雲祭、テーマ「Anchoring Our Future」。函館東高校最後の学校祭となる。行燈行列には東高校、北高校両校PTAの行燈も参加、生徒と共に前夜祭を盛り上げる ⁽¹⁶⁷⁾ 「市立函館高等学校」学校説明会（市芸術ホール）。新設高校は全日制普通科で単位制。教育課程の選択科目にはロシア語、函館学などの独自色も ⁽¹⁶⁹⁾	自衛隊イラク撤収
7	放送局、全道高校放送発表大会で「朗読部門」と「創作ラジオドラマ部門」で入賞、全国大会へ ⁽¹⁶⁷⁾ 東高校、北高校の一・二年生が合同スポーツレクリエーション（北高校、千代台競技場） ユジノサハリンスク市訪問団が来校	冥王星が惑星降格
8	東高校最後の生徒会役員選挙、新生徒会長に早川裕香（二年） ⁽¹⁶⁸⁾ 東高校・北高校合同PTA会議 「市立函館高校」校章に佐々木善憲氏（東高三十回生）の作品を選定。また校歌は作詞〓山口勇氏、作曲〓佐々木茂氏に決まる ⁽¹⁶⁹⁾	安倍内閣 高校未履修問題 佐呂間町で強い竜巻
9	予餞会、教職員による恒例の青春座演目は「背筋を伸ばせ、準備はい	夕張市財政破綻で再建団体
12		
1		

3	いか ⁽¹⁶⁹⁾ 新高校校舎として改修のため、仮校舎となる北高校への引越しに向け準備作業始まる 「青雲時報一六九号」（最終号）発行 第五十七回卒業式。卒業生二七八名（男子一一二・女子一六六）。創立以来の卒業生数は函館市立中学校八〇〇名、函館市立高等学校三三二名、函館東高等学校二二三、一六二名、総数二四四、二九四名 ⁽¹⁶⁹⁾ 函館東高等学校閉校式（二十日）。在校生のほか多くの卒業生、旧教職員、市関係者、来賓など約一〇〇〇人が出席。平沼冠三同窓会長（十八回生）、早川裕香生徒会長の挨拶のあと、放送局編集のスライド「函館東高校を振り返る」を上映。全員で校歌を斉唱し、森武校長より函館市教委新里光代委員長へ校旗を返納して式を終る 函館市立中学校（八年）、函館市立高等学校（二年）、函館東高等学校（五十七年）、六十七年の歴史に幕
	（年表編纂のため参考とした資料） 学校日誌・学校要覧・学校教育計画 校史『五十年誌』 冊子『理数科の軌跡』 卒業式・閉校式次第 PTA便り 生徒会誌「ひんがし」 卒業アルバム 青雲祭・予餞会マニユアル 北海道新聞社「データベース」 一般紙コピー（市教委、市議会事務局、市立函館高校森校長保存） 『近代日本総合年表 第四版』（岩波書店） 『函館市史・年表編』